

## 8 保育福祉科 夜間主コース トワイライトクラス 1年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
保育士養成課程 教 養 科 目	体育Ⅰ	2	
	体育Ⅱ		1
保育士養成課程 必 修 科 目	保育原理		2
	教育原理		2
	児童家庭福祉	2	
	社会福祉		2
	社会的養護	2	
	保育の心理学Ⅰ	2	
	保育の心理学Ⅱ		1
	子どもの保健Ⅰ a	2	
	子どもの保健Ⅰ b		2
	子どもの保健Ⅱ		1
	子どもの食と栄養	2	
	保育課程論	2	
	保育内容総論		1
	乳児保育		2
	社会的養護内容		1
	保育表現技術・幼児体育Ⅰ	1	
	保育表現技術・楽典	1	
	保育表現技術・ピアノⅠ	1	
	保育表現技術・造形Ⅰ	1	
	保育実習指導Ⅰ a		1
保育実習指導Ⅰ b		1	
保育士養成課程 選 択 必 修 科 目	保育表現技術・ピアノⅡ		1
	保育表現技術・造形Ⅱ		1
必 修 科 目	実習研究概論	2	
	クラスルームⅠ	1	
合 計 単 位 数		21	19
		40	

科 目	体育Ⅰ	講 師	入江 由香子
授業目標	子どもから成人、高齢者まで誰もが願うことは健康で豊かな生活である。特に子どもの成長著しい時期に、成長や発達を妨げず食事・遊び（運動）・休養（睡眠）・病気にならない身体づくりなどの学びは必要不可欠である。本授業では、健康な子どもを育てるために大切な基本的な心身の発達段階、身体の仕組み、学習意欲、コミュニケーション力などを講義で学び、実際に子どもに対して指導を行う心構えを身につけることを目標とする。		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション（実技と講義の諸注意、個人票の記入など）</li> <li>2. 健康の定義、体力について</li> <li>3. 日本人の健康状態について（子どもから高齢者まで）</li> <li>4. 子どもと大人の身体の仕組みの違い</li> <li>5. 体力テスト、形態測定について</li> <li>6. 形態測定の実施（身長、体重、体脂肪率、周径囲など）</li> <li>7. 新体力テスト（握力、立ち幅跳び、上体おこし）、ストレッチ</li> <li>8. 新体力テスト（長座位体前屈、閉眼片足立ちなど）、ストレッチ</li> <li>9. 体力テストの振り返り 肥満について</li> <li>10. 生活習慣病、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、フレイルについて</li> <li>11. 効果的な運動法（有酸素運動と無酸素運動）</li> <li>12. ストレッチと有酸素運動</li> <li>13. ストレッチと筋力トレーニング</li> <li>14. まとめと定期試験について</li> <li>15. 定期試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『健康生活と運動』小笠原正志編、株式会社エスアイエス <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評価の 方 法	実技40%（全出席、積極性、意欲、チームワークなど）、定期試験60%による総合評価 *実技と講義の両方の授業を行います。出席重視のため欠席をしないこと。		

科 目	体育Ⅱ	講 師	宮脇 裕子
授業目標	幼児期は、まず「からだ」が出来ていく基となる時期で、体育あそび及び適切なスポーツを通して、筋力・体力・調整力を付けると共に、明るく健康で、豊かな情操を培えるよう保育士の温かく育む姿勢と指導力が求められている。その指導者としての資質を養うと共に、バイタリティー溢れる豊かな遊び心を育てながら運動能力向上を目指して、楽しくマルチスポーツを工夫展開していく。		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「あそび」とは幼児にとって何を形成していくのか？走るをテーマにゲームし考える</li> <li>2. 伝承遊び、鬼ごっこ等、すぐ取り組める道具を使わない遊びを追求する。</li> <li>3. リズム体操を通して、楽しく体を動かし、表現力を養い、グループで新たな動きを作る</li> <li>4. 用具を使つての遊びその1 ドッジボールというゲームのルールを千変万化させる。</li> <li>5. 用具を使つての遊びその2 平均台、マット、フラフープを利用して</li> <li>6. 用具を使つての遊びその3 基本はポートボール、バスケットボール、アルティメット</li> <li>7. フットサルに至る前段階のボールあそび</li> <li>8. 近くの公園で、基礎トレからのフットサル</li> <li>9. 雨の日の体育室のレクリエーションゲーム</li> <li>10. ウォーミングアップの効用、スロートレーニングとしてのヨガストレッチ、ピラティス</li> <li>11. 新聞紙を使ったあそび、新聞紙ホッケー、チャンバラごっこ</li> <li>12. リズムダンス創作1 鑑賞、曲選択、振り付け</li> <li>13. リズムダンス創作2 民族的身体活動、よさこいソーラン</li> <li>14. リズムダンス創作3 ジングルベル</li> <li>15. 発表会 実技試験 グループ活動の意義考察</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……随時プリント配布 <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評価の 方 法	出席第一。リズムダンス創作をグループで行い発表する。その貢献度と時を活かして仲間と共に楽しんで活動出来ているか。		

科 目	保育原理	講 師	中村 美奈子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育の意義、保育の歴史など保育にかかわる基本的な事項を学ぶ。</li> <li>・ 保育環境、保育方法などの保育の展開について学ぶ。</li> <li>・ 保育所保育指針における保育の基本について理解する。</li> <li>・ 保育の現状と今後の課題について学ぶ。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育の理念、保育とは何か</li> <li>2. 乳幼児期の子どもの特性</li> <li>3. 子どもを理解するとは</li> <li>4. 保育所、幼稚園、認定こども園</li> <li>5. 保育所保育の原理、保育所の目的と役割</li> <li>6. 保育所保育の原理、保育の記録と評価</li> <li>7. 子どもの最善の利益を考慮する保育</li> <li>8. 保育の計画及び評価、指導計画の作成と展開</li> <li>9. 保育の計画及び評価、保育の記録と評価</li> <li>10. 保育者に求められる専門性</li> <li>11. 子育て支援、障害を持つ子どもの理解と支援</li> <li>12. 保育の思想と子ども観(1)</li> <li>13. 保育の思想と子ども観(2)</li> <li>14. 試験</li> <li>15. まとめ</li> </ol> <p style="text-align: right;">※内容は授業の進み具合によって変更することもあります</p>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『養護と教育が一体となった保育の言語化』全国社会福祉協議会、『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』授業内で配布したプリントはまとめておく <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評価の 方 法	出席、授業態度を重視し、提出プリント、試験による総合評価		

科 目	教育原理	講 師	水引 貴子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育の意義や目的を理解し、自分なりに説明できる。</li> <li>・ 教育思想の変遷を学び、現代の教育を多角的に捉えられる。</li> <li>・ わが国と諸外国の教育制度を理解したうえで、幼児教育の位置づけを考えられる。</li> <li>・ 教育の今日的課題を捉え、それらの解決に向けて自己の考えを述べることができる。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 教育観を支える子ども観</li> <li>3. 諸外国における教育の歴史(1)</li> <li>4. 諸外国における教育の歴史(2)</li> <li>5. 日本における教育の歴史(1)</li> <li>6. 日本における教育の歴史(2)</li> <li>7. 現代の教育的課題</li> <li>8. 中間まとめ</li> <li>9. 教育課程と学校文化</li> <li>10. 学習指導要領の変遷</li> <li>11. 社会とつながる学校</li> <li>12. 諸外国の教育制度</li> <li>13. 子どもへの支援</li> <li>14. まとめ</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし <b>参考書</b> ……適宜紹介する		
評価の 方 法	出席、毎回のリアクションペーパーおよびワークシート、授業態度、試験による総合評価		

科 目	児童家庭福祉	講 師	畑岡 隆
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士として必要な児童家庭福祉の法、施策、行政などの知識を学ぶ。</li> <li>・子どもや家族、家庭についての幅広い見方や考え方を養う。</li> <li>・よりよく生きること、ウェルビーイングについて理解する。</li> <li>・感じたことや思ったことを文できちんと表現できるようにする。</li> <li>・自分の考えをまとめ、伝える力を身につける。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス、人類の歩み</li> <li>2. 児童福祉法と健全育成(1)</li> <li>3. 児童福祉法と健全育成(2)</li> <li>4. 児童憲章と環境(1)</li> <li>5. 児童憲章と環境(2)</li> <li>6. 子育てとその支援(1)</li> <li>7. 子育てとその支援(2)</li> <li>8. 子どもの障害と支援(1)</li> <li>9. 子どもの障害と支援(2)</li> <li>10. 社会的養護と施設(1)</li> <li>11. 社会的養護と施設(2)</li> <li>12. 児童虐待とその支援</li> <li>13. ひとり親家庭とその支援</li> <li>14. 非行とその支援</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……坂本健編『子ども家庭福祉の制度と支援』大学図書出版、2011 <b>参考書</b> ……必要に応じて、授業で紹介する		
評 価 の 方 法	試験に出席状況、自主レポートなどを加えて評価する（詳しくは初回に説明する）		

科 目	社会福祉	講 師	畑岡 隆
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士として必要な社会福祉の法、施策などの知識を学ぶ。</li> <li>・人（あるいは生物としてのヒト）について幅広い見方や考え方を養う。</li> <li>・よりよく生きること、ウェルビーイングについての理解を深める。</li> <li>・感じたことや思ったことを文できちんと表現する力を高める。</li> <li>・自分の考えをまとめ、伝える能力を向上させる。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス、ヒトと人の理解</li> <li>2. 社会福祉の歴史(1)</li> <li>3. 社会福祉の歴史(2)</li> <li>4. 社会福祉の歴史(3)</li> <li>5. 貧困と生活保護制度(1)</li> <li>6. 貧困と生活保護制度(2)</li> <li>7. 障害と生活と福祉(1)</li> <li>8. 障害と生活と福祉(2)</li> <li>9. 障害と生活と福祉(3)</li> <li>10. 難病と生活と福祉</li> <li>11. 老いと生活と福祉(1)</li> <li>12. 老いと生活と福祉(2)</li> <li>13. 専門性と援助の方法(1)</li> <li>14. 専門性と援助の方法(2)</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……相澤譲治編『保育士をめざす人の社会福祉』みらい、2016 <b>参考書</b> ……必要に応じて、授業で紹介する		
評 価 の 方 法	試験に出席状況、自主レポートなどを加えて評価する（詳しくは初回に説明する）		

科 目	社会的養護	講 師	熊崎 有香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的養護の基本概念を理解する。</li> <li>・社会的養護の歴史や法制度の整備について理解する。</li> <li>・社会的養護におけるニーズの変化を理解する。</li> <li>・子ども虐待の現状理解と特性への理解を深める。</li> <li>・社会的養護における保育士の役割や業務について理解する。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会的養護の基本概念</li> <li>2. 社会的養護の歴史と法制度の整備</li> <li>3. 社会的養護のニーズの変化</li> <li>4. 子ども虐待①（虐待の概念、現状、虐待に関する法制度）</li> <li>5. 子ども虐待②（虐待対応の流れ）</li> <li>6. 子ども虐待③（被虐待児の特性理解、保育士の役割、虐待へのケア）</li> <li>7. 子どもの発達と権利</li> <li>8. 施設で暮らす子どもの生活と日常支援</li> <li>9. 子どもを支援する専門職とチーム支援</li> <li>10. 自立支援計画書とアフターケア</li> <li>11. 子どもを支援する関係機関との連携</li> <li>12. 発達障害と知的障害児の理解と支援</li> <li>13. 里親制度とファミリーホーム</li> <li>14. 社会的養護の課題と今後の展望</li> <li>15. レポート</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし  <b>参考書</b> ……適宜指示		
評 価 の 方 法	出欠席、受講態度、提出物、レポート内容を総合的に評価する。		

科 目	保育の心理学 I	講 師	八田 厚子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実践に関わる子どもの発達について心理学の基礎知識を学ぶ。</li> <li>・生涯発達の視点と領域横断的視点から子どもの発達を理解する。</li> <li>・子どもは人と人との相互的にかかわりを通じて発達することを学ぶ。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの発達を理解することの意義</li> <li>2. 子ども観と保育観</li> <li>3. 胎児・新生児期の発達の特徴</li> <li>4. 乳幼児期の発達の特徴</li> <li>5. ①身体、運動の発達</li> <li>6. ②認知の発達</li> <li>7. ③言語の発達</li> <li>8. ④感情の発達</li> <li>9. ⑤気質・性格の発達</li> <li>10. ⑥人と人とのかかわり</li> <li>11. ⑦自己意識の発達</li> <li>12. ⑧子どもの発達と遊び</li> <li>13. 児童期・青年期の発達の特徴</li> <li>14. 成人期・老年期の発達の特徴</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『保育の心理学 I・II 第2版』建帛社  <b>参考書</b> ……『乳幼児心理学』『保育の心理学 I』北大路書房、その他適宜紹介		
評 価 の 方 法	出席状況、レポート、試験等による総合評価		



科 目	子どもの保健Ⅰb	講 師	大久保 真理子
授業目標	1. 子どもの健康状態の把握のための具体的な方法について理解する。 2. 子どもの精神保健とその問題等について理解する。 3. 子どもがかかりやすい感染症及び感染症の予防のための具体的な方法について理解する。 4. 子どもにみられやすい症状について理解するとともにそれに対する適切な対応についても理解する。		
授 業 の 画	1. 子どもの健康状態を把握する方法 2. 子どもの精神疾患 3. 子どもの心の健康とその課題 4.                   〃 5. 子どもがかかりやすい感染症 6.                   〃 7. 感染症対策の現状 8. 感染症の予防 9.                   〃 10. 呼吸器系疾患とその対応 11. 消化器系疾患とその対応 12. アレルギー性疾患とその対応 13. 発熱等の症状への対応 14.                   〃 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……新保育士養成講座第7巻『子どもの保健』全国社会福祉協議会  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、試験結果を総合して評価します （試験は授業内に3回小テストを行う予定です）		

科 目	子どもの保健Ⅱ	講 師	竹岡 紀子
授業目標	この授業を通して、保育現場で保健活動を展開できる基礎を身につける。 ・子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境について考える。 ・子どもの疾病とその予防、適切な対応について学ぶ。 ・救急時の対応や事故防止、危機管理について学ぶ。		
授 業 の 画	1. オリエンテーション 2. 子どもの発育・発達 3. 日常生活の援助—手洗い・抱き方・おむつ交換・衣服の着脱 4. 身体の計測と発育評価 5. おむつ実験 6. おむつ交換時の観察ポイント 7. 子どもの疾病と看護—バイタルサイン 8. 子どもの疾病と看護—最近の健康問題 9. 日常生活の援助—沐浴・スキンケア 10. 日常生活の援助—沐浴・スキンケア 11. 子どもの事故の特徴と安全対策 12. 応急処置 13. 救急蘇生法 14. 試験 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……“子どもの保健Ⅰ”で使用するテキスト  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度、レポート、試験などによる総合評価		





科 目	保育内容総論	講 師	担当講師
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所保育指針における保育内容の全体的な構造を理解する。</li> <li>・ 子どもの生活全体を通して養護と教育が一体的に展開することを理解する。</li> <li>・ 保育の多様な展開について学ぶ。</li> <li>・ 保育内容の歴史の変遷について学び、保育内容について理解する。</li> <li>・ 保育の内容を豊かにするための遊びや文化財に触れる。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の進め方と内容について</li> <li>2. 保育所・幼稚園・認定こども園の一日、一年間</li> <li>3. 保育内容の歴史の変遷（戦前・戦後の保育内容）</li> <li>4. 「保育所保育指針」における保育内容</li> <li>5. 養護と教育が一体的に展開する保育</li> <li>6. 環境を通して行う保育</li> <li>7. 生活や遊びによる総合的な保育</li> <li>8. 保育内容と保育の計画</li> <li>9. 家庭・地域・小学校との連携をふまえた保育</li> <li>10. 多様な保育の展開—乳児保育</li> <li>11.           〃                  —長時間保育</li> <li>12.           〃                  —特別な支援を必要とする子どもの保育</li> <li>13.           〃                  —多文化共生保育</li> <li>14. 子育て支援における保育内容と保育の現状と課題</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『保育所保育指針解説書』適宜資料配布 <b>参考書</b> ……『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』		
評 価 の 方 法	出席・試験・授業への取り組み等による総合評価		

科 目	乳児保育	講 師	柴田 篤美
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳児保育の特徴や意義を理解し、実際の保育現場での保育対応を学ぶ。</li> <li>・ 乳児の発達を学び、個々の発達をふまえながらの保育の重要性を理解する。</li> <li>・ 乳児の生活、遊びを豊かにする為に保育者に必要とされる知識を学ぶ。</li> <li>・ 乳児を取り巻く環境を知り、保護者への支援や対応について理解を深める。</li> <li>・ 手遊びや絵本の読み聞かせや遊びなどの実技を通して保育者のかかわり方を学ぶ。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の進め方と内容、乳児保育の意義と現状、発達と胎生期</li> <li>2. 乳児の育ちと保育の要点 誕生から6ヶ月未満</li> <li>3. 乳児の育ちと保育の要点 6ヶ月から1歳3ヶ月</li> <li>4. 乳児の育ちと保育の要点 1歳3ヶ月から2歳</li> <li>5. 乳児の育ちと保育の要点 2歳</li> <li>6. グループディスカッション</li> <li>7. 小テスト</li> <li>8. 保育内容 授乳、離乳食</li> <li>9. 保育内容 食事、睡眠、排泄</li> <li>10. 保育内容 着脱、清潔、健康</li> <li>11. 保育内容 あそび（実習とまとめ）</li> <li>12. 保育環境と保育計画と記録</li> <li>13. 家庭との連携、保護者対応</li> <li>14. 乳児保育の今後の課題とまとめ</li> <li>15. テスト</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『乳児保育一人一人を大切に』加藤敏子著、萌文書林 <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席、授業態度を重視。実技の取り組み方、テスト、総合的に評価する。		



科 目	保育表現技術・楽典	講 師	出口 雅生
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の基本的な構成要素を理解する。</li> <li>・子どものうたに親しみ、歌うこととリズムに合わせて身体を動かすことの喜びを自ら感じとる。</li> <li>・楽譜の読み方とピアノ演奏の基礎を学ぶ。</li> <li>・簡単な合奏を通して、子どもたちと音楽を分かち合うために何が必要か考察する。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 音の高さについて</li> <li>3. 音の長さについて</li> <li>4. 拍子について</li> <li>5. 音階について</li> <li>6. ピアノ①</li> <li>7. 合奏①</li> <li>8. 調性について① 音階</li> <li>9. 調性について② 調号</li> <li>10. 和音について① 三和音</li> <li>11. 和音について② 和音の連結</li> <li>12. ピアノ②</li> <li>13. 合奏②</li> <li>14. 試験</li> <li>15. まとめ</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし <b>参考書</b> ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	平常点、提出物、試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノ I	講 師	木下 裕子・島内 亜津子・杉浦 千里 鈴木 祥子・鍋島 久美子・福田 由子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノの基礎演奏技術を学ぶ（へ音記号導入以上を目安とする）。</li> <li>・簡単な子どもの歌を弾き歌いできるようにする。</li> <li>・楽しい生き生きとした音楽表現を目指してピアノの練習を日々心掛ける。</li> <li>・毎回の個人レッスンについて、進度表に記入していく。</li> </ul> （備考）経験者については初心者と同じ曲から始めて、自分のテクニックを確認しつつ、さらにピアノⅡの内容に進んで下さい。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 個人レッスン：導入～両手で弾く（全音符・4分音符・2分音符・付点・休符について）</li> <li>3.     〃     ：拍子記号・リピート記号</li> <li>4.     〃     ：異なる左右の指の動き</li> <li>5.     〃     ：スラー（滑らかなフレージングの演奏）の表現</li> <li>6.     〃     ：タイの奏法</li> <li>7.     〃     ：8分音符の導入</li> <li>8.     〃     ：8分音符の導入</li> <li>9.     〃     ：付点4分音符・8分音符の奏法</li> <li>10.  〃     ：大譜表、へ音記号の読み方</li> <li>11.  〃     ：大譜表、へ音記号の読み方</li> <li>12.  〃     ：「むすんでひらいて」を弾いてみよう</li> <li>13.  〃     ：ハ長調の弾き歌い演習</li> <li>14.  〃     ：実技試験発表曲の徹底練習</li> <li>15. 実技試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『おとなのためのバイエル教本』ドレミ楽譜出版社 『こどものうた100』チャイルド本社 <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・造形 I	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<p>様々な教材を用いて課題制作を行い造形表現の意義を常に考える。            学生各自は、内なる心の思いを作品に表現し、造形の喜びや面白さを体感する。また一連の制作過程から保育士と幼児の両方の立場を経験する。            そして幼児の自主的・主体性活動と、保育士に必要な援助とは何かを考え、自らの保育における造形感や造形技術及び資質を育てる。            ＊制作の進行状況を考慮し順序や内容を適宜変更する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 表現について、表現と表出、意義、自己肯定感、個の確立、遊び、多様性。様々な線を描く。</li> <li>2. ミニコイノボリ制作。にじみえ。幼児の造形活動の特徴を理解する。</li> <li>3. 基本図形の組み合わせで絵を描く。保育造形の指導のポイント(褒める、援助する、刺激する等)</li> <li>4. 色を学ぶ。(色相環、色相、明度、彩度、反対色、近似色など)</li> <li>5. 虹を描く。広告チラシを用いた貼り絵。保育画材の主な種類と特徴を知る。</li> <li>6. 絵画の発達段階を学ぶ。(なぐりがき期、象徴期、前図式期、図式期)</li> <li>7. 幼児画の特徴1 (頭足人、レントゲン画、膨張画、展開描法、多視点画、アニミズム的表現)</li> <li>8. 幼児画の特徴2 (カタログ表現、基底線表現、積み上げ表現、概念画)</li> <li>9. モダンテクニック。様々な保育画材を使用し幼児の発達過程に応じた造形指導を学ぶ。</li> <li>10. グループによる壁画制作：季節をテーマに内容を相談、検討し、表現展のプランを立てる。</li> <li>11. グループによる壁画制作：展示作品の制作 (個別)</li> <li>12. グループによる壁画制作：展示舞台の制作 (グループ)</li> <li>13. グループによる壁画制作：飾り付けと仕上げを行い完成。全体発表をする。</li> <li>14. これまでの制作内容を一冊のノートにまとめる。</li> <li>15. まとめ、ノート提出</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評価の 方 法	<p>授業態度を重視。必要な用具・材料の準備、授業内での作品の提出及び完成度、学習意欲、制作に対する真摯な姿勢、適切な片付け、まとめノートの提出、遅刻早退出席数による総合的評価</p>		

科 目	保育実習指導 I a	講 師	鈴木 八重子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貴重な学習体験である保育所実習を有意義なものにするために必要な事項を学ぶ。</li> <li>・ 実習に臨む目的意識、社会人としての常識を身につける。</li> <li>・ 実習日誌の記載方法を体得する。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育実習の概要</li> <li>2. 保育所の概要と社会人としての心構え</li> <li>3. 保育所の1日の流れと保育内容の理解</li> <li>4. 自己紹介・スケッチブックシアターの制作①</li> <li>5. 自己紹介・スケッチブックシアターの制作②</li> <li>6. 実習日誌を書く意義と記入の仕方</li> <li>7. 幼児クラスの実習日誌の書き方</li> <li>8. 乳児クラスの実習日誌の書き方</li> <li>9. 実習目標を立てる①</li> <li>10. 実習目標を立てる②</li> <li>11. 実習に伴う書類の作成、事務手続きの確認</li> <li>12. グループワークによる手遊びの指導案作成と発表①</li> <li>13. グループワークによる手遊びの指導案作成と発表②</li> <li>14. まとめと振り返り</li> <li>15. 試験 ※随時、漢字テスト、保育者としての常識などを問う小テストを実施する</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『幼稚園・保育所・施設実習完全ガイド〈第2版〉』ミネルヴァ書房</p> <p>参考書……授業内で配布したプリントはまとめておく</p>		
評価の 方 法	<p>出席状況(無断欠席不可)、授業態度、小テスト、提出物、発表、試験等による総合評価</p>		

科 目	保育実習指導 I b	講 師	古野 愛子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉施設や障害者支援施設の概要を理解し、実習に向けて各施設の養護内容、支援内容を深く学ぶ。</li> <li>・デイリープログラムや施設に行っている事業、職員の業務内容について学ぶ。</li> <li>・施設における実習日誌の実際を研究し、書き方のポイントを学ぶ。</li> <li>・一人一人が実習に向けて具体的な実習課題を設定する。</li> <li>・児童福祉施設をはじめとして、施設が果たす社会的役割について考察する。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション（この講義の意味）</li> <li>2. 実習に向かう姿勢、心構え</li> <li>3. 実習先となる児童福祉施設について①</li> <li>4. 実習先となる児童福祉施設について②</li> <li>5. 実習先となる児童福祉施設について③</li> <li>6. 実習における観察の視点・記録①</li> <li>7. 実習における観察の視点・記録②</li> <li>8. 実習における観察の視点・記録③</li> <li>9. 実習前のオリエンテーションについて</li> <li>10. 実習に必要な書類の作成</li> <li>11. 実習課題に関する演習①</li> <li>12. 実習課題に関する演習②</li> <li>13. 実習課題作成①</li> <li>14. 実習課題作成②</li> <li>15. 実習に向けて・テスト</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『幼稚園・保育所・施設実習完全ガイド』ミネルヴァ書房 <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席・平常点・レポート・テストによる総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノⅡ	講 師	木下 裕子・国友 真知子 佐藤 季里・鈴木 祥子・福田 由子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノⅠに引き続き、ピアノの基礎表現技術を学んでいく。</li> <li>・現場で使える生活の歌や童謡の弾き歌いレパートリーを増やしていく。</li> <li>・日々の自己練習を積み重ねることで、個人レッスンで音楽表現の楽しさや共有する喜びを体験する。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 個人レッスン：大譜表、へ音記号の復習</li> <li>3.       〃       ：跳躍するメロディーの指の使い方（指替え、指広げ等）</li> <li>4.       〃       ：ハ長調の音階練習</li> <li>5.       〃       ：3連符と16分音符</li> <li>6.       〃       ：イ短調の音階</li> <li>7.       〃       ：ト長調の音階と曲</li> <li>8.       〃       ：ト長調の童謡</li> <li>9.       〃       ：ニ長調の音階と曲</li> <li>10.      〃       ：ニ長調の童謡</li> <li>11.      〃       ：へ長調の音階と曲</li> <li>12.      〃       ：へ長調の童謡</li> <li>13.      〃       ：生活の歌</li> <li>14.      〃       ：実技試験の曲の徹底練習</li> <li>15. 実技試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『おとなのためのバイエル教本』、『こどものうた100』チャイルド本社 <b>参考書</b> ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・造形Ⅱ	講 師	廣田 篤憲
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの造形表現とその環境について理解し、その基本的知識と技術を学ぶ。</li> <li>・立体的あるいは空間的な造形製作の意義とその目標について理解し習得する。</li> <li>・素材と題材について学習し、その技術を習得する。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 造形Ⅱの準備と、造形Ⅱにおける表現の意味について考える</li> <li>2. 紙皿で作るカタツムリ：ハサミの使い方、人への渡し方</li> <li>3. リュックサックとお弁当（色画用紙、折り紙、毛糸他いろいろな素材を使って）</li> <li>4. 空き箱を使ってマリオネットを作る（自分で繰り返す遊ぶ、動きの面白いオモチャを作る）</li> <li>5. 紙袋を使って：パクパク人形を作る</li> <li>6. いろいろな素材を使って「音」の出るオモチャを作る（1人2種類の楽器作り）</li> <li>7. ゴミ袋を使って風でなびく鯉のぼりを作る</li> <li>8. 引いて遊ぶオモチャ（工作用紙、色画用紙などを使って）</li> <li>9. 新聞紙を使って服を作る</li> <li>10. 紙コップの不思議な生き物（紙コップなどを使って実在しない生き物を作る）</li> <li>11. 牛乳パックを使ってオモチャを作る</li> <li>12. クリスマスリースを飾る</li> <li>13. モビールを作る1回目</li> <li>14. モビールを作る2回目</li> <li>15. モビールを作る完成</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『絵画・製作・造形あそび完璧BOOK』ひかりのくに <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	作品、出席状況による総合評価（作品は全作品提出が単位取得の最低条件です）		

科 目	実習研究概論	講 師	菊池 一英
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習に向けての心がまえ全般を学びます。</li> <li>・実習が何年次のいつの時期に実施されるかを学びます。</li> <li>・保育所、その他施設について概論的に学びます。</li> <li>・実習生としてのマナーと常識を身につけます。</li> <li>・実習に向けての書類とオリエンテーションの準備をしっかりと行います。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション（保育職、実習とは何か？）</li> <li>2. 実習計画ガイダンス（公務員模擬テスト、証明写真について）</li> <li>3. 保育所について（児童福祉施設最低基準とは？）</li> <li>4. 保育所実習について①</li> <li>5. 保育所実習について②</li> <li>6. 児童福祉施設について</li> <li>7. 児童福祉施設の実習について</li> <li>8. 保育現場から学ぶ（ビデオ学習）</li> <li>9. 実習のための実技指導（手遊び他）</li> <li>10. 実習生として求められるマナーと常識</li> <li>11. 事前のオリエンテーションに向けて（電話のかけ方、入退出、自己紹介等）</li> <li>12. 実習から就職へのストーリー（公務員試験対策含む、保育実習Ⅱについて）</li> <li>13. 福祉職への就職とは？</li> <li>14. 定期試験及び履歴書指導</li> <li>15. 保育士の決意と覚悟（ビデオ学習）</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	平常点（無断欠席は認めない）ミニテスト、レポート、定期試験で総合評価します		

科 目	クラスルーム I	講 師	松森 照幸
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生への諸連絡、個別面談、実習に関する事項、各種相談の時間とする。</li> <li>・ 学校生活を送るうえで必要な留意事項について理解し、安定した学校生活を送る。</li> <li>・ クラス活動を通して保育者に必要とされるコミュニケーション力、自主性、協調性、責任感、協働の態度等の資質を養う。</li> <li>・ 必要に応じてカリキュラムに関する補てん事項等を実施する。</li> </ul>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入学時オリエンテーション</li> <li>2. 入学時オリエンテーション (ボランティア、サークルのガイダンス、等)</li> <li>3. 個別面談</li> <li>4. 個別面談</li> <li>5. 個別面談</li> <li>6. 個別面談</li> <li>7. 個別面談</li> <li>8. 個別面談</li> <li>9. クラス活動</li> <li>10. クラス活動</li> <li>11. クラス活動</li> <li>12. クラス活動</li> <li>13. クラス活動</li> <li>14. クラス活動</li> <li>15. 夏期休暇・後期の学校生活に向けて</li> </ol>		
教 科 書 及 び 参 考 書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法			